

地震への対応

学校にいるとき
家庭掲示用

小淵沢小学校

地震発生

震度 4 以下

震度 5弱 以上

安全

危険

学校留め置き(無条件)

学校からの連絡 全校連絡網、緊急メールで連絡

通常下校
※被害もなく、下校しても安全と判断できるとき

全校下校
教師引率
下校時刻
は定時

学校留め
置き
↓
引き渡し

引き渡し
引き渡すまで
学校留め置き
各家庭での迎え

市地域課と連携して
避難所開設
教室体育館へ避難

安全を確保し、子どもの命を守る。

危険が予想される場合は、学校から子どもを帰さない。(学校に留め置き)

連絡が必要な場合は、何らかの方法で連絡できるように努める。

大きな災害で連絡が出来ないときは、学校に来て情報把握に努めてください。

基本対応

地震への対応

登下校中

家庭掲示用

小淵沢小学校

地震発生

小さなゆれ

地震の大きさ

大きなゆれ

安全

わからない

危険

歩き児童 通常登下校

バス児童 通常登下校

○学校と家のどちらか近い方へ避難する

○近くの家の人に助けを求める

○バスも歩きも安全な場所で待機する

通常の授業・自宅

引き渡し

学校留め置き・避難

基本対応

安全な場所に避難する。（自分で命を守る）

学校・保護者・地域は 子どもの安全確認と避難誘導をする。

その後の対応について、連絡（必要な場合）電話やメールで行う。

児童の所在をみんなで協力して把握する。

児童の安否は、学校へ報告する。